

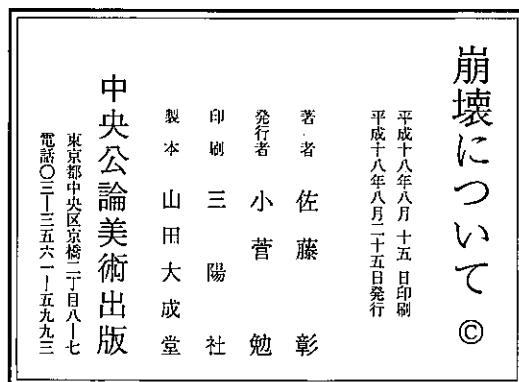
目 次

第一章 緒としての一枚の絵	241
第二章 壊れやすい構造、壊れにくい構造	237
第三章 大聖堂の石造天井	207
第四章 イタリアの鐘塔	187
第五章 イギリス、フランスにおける中央塔の聳立	165
第六章 王朝時代の日本建築	148
第七章 手抜かり・手抜き	127
第八章 天譴と僥倖	111
第九章 曲芸的デザインへの挑戦	93
第十章 雷撃、雷火と避雷	78
第十一章 死を忘るな、または虚栄の戒め	60
第十二章 不安、禁忌、予兆	42
註	25
あとがき	13
図版出典一覧	3

著者略歴

佐藤 彰（さとう・あきら）

愛知教育大学教授 工学博士 建築史 1943年仙台生まれ
東京大学建築学科卒業 著書・論文：「成立期の英國近代建築産業」（私家版、1986）、同英語版 *Building in Britain, the Origins of a Modern Industry* (Scolar Press, 1995)、建築史学会賞)、「Fontehill Abbey の theatricality について」(久田晴則編『文化的カレードスコープ』英宝社、2003所収)、「初期工業化のもとでのイギリス建築—もたらされた「虚偽」をめぐって」(鈴木博之他編『材料・生産の近代』シリーズ都市・建築・歴史9、東京大学出版会、2005)ほか。



ISBN4-8055-0527-3